万亭應賀作
相撲婆
上
錦
へ13
3785
7

門へ13
號 3785
卷 7

# 釋迦八相
# 倭文庫四編上

春新板

万亭應賀作

一陽齋豐國画

上州屋重藏板



## 釋迦八相倭文庫四編の叙

夫天の命ざる二五の性理精きと受て生るものの人也性理偏氣ふ埋まて生るものの畜類也性理幽微なると受て生るものの草木也されバその性理の精きと受て生る中に稚貴と賢と望大子のれ歳七戈ふて弓の勝負と俗しのハ大悪無双の従弟なる捜婆達多と挙しゝ終ふ射勝玉ハ一ゝ昌ゝ捜波女の怨恨の始め扶太子九戈ふして初学乃師ゝ耨頭賢弗の流へ迷ふ四雲麟馬虎頭の筆勢皆流通あるゆゑまゝとおゞつるもあやうして冬絲龍する此草冊子何卒梅ふ先立て評判あらんとと冀ふと爾云

弘化三年丙午春新版

万亭應賀述

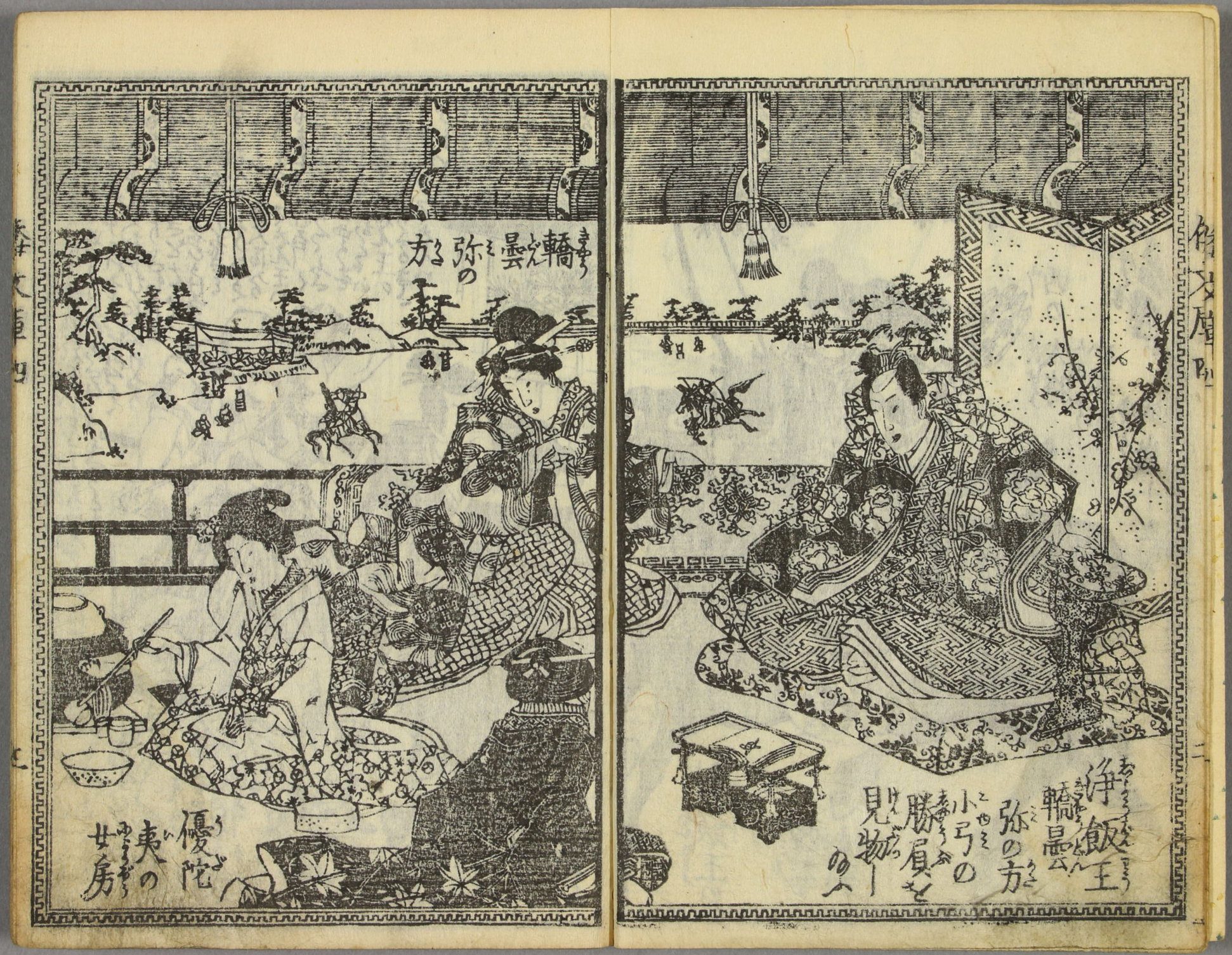
悉達太子御歳七才にて小弓の勝負を催し賜ふ図

悉達太子
東の大将
大太郎



西の大将
小太郎
御歳十五才

斛飯王の一子
提婆達多


浄飯王
輪墨
弥の方
小弓の
勝負を
見物
輪墨
弥の方
優陀
夷の
女房

えんのつくさ こてふ又ぢうたん王のにがんめのあくさいろ丸とあくさせる解版だん王ハさぶーころばんぐく大阪のあとぐいのむすめをふくろびこと丸きくらぐもうこともなくさびずこれをようてみぐくせいぐくぐやくこんかりひたいぐれうとものうぐんとりくちりどらんとらくぜきとたくてきくふとにもろひげるくかびくゝ御ゐるあぐきこ

ぢうたん王よりちこと傾とーてたろ大ほろきくりこうびてぢん王のみもきそんじむるくむぢくこうくてふさアのむすめのゆうきをきくくくもやくぐいとも丸ぢうたん王のきくきくとろくるさこありけれびらくたんいたぐくこうのてふこうのむすめをゆくこころあふくへとそれをしぐけんろこ

田十五ゆてあくさそ

きくこうこれをにろりきもとひやこうこあいうこあるゆ

けんのこのまこ

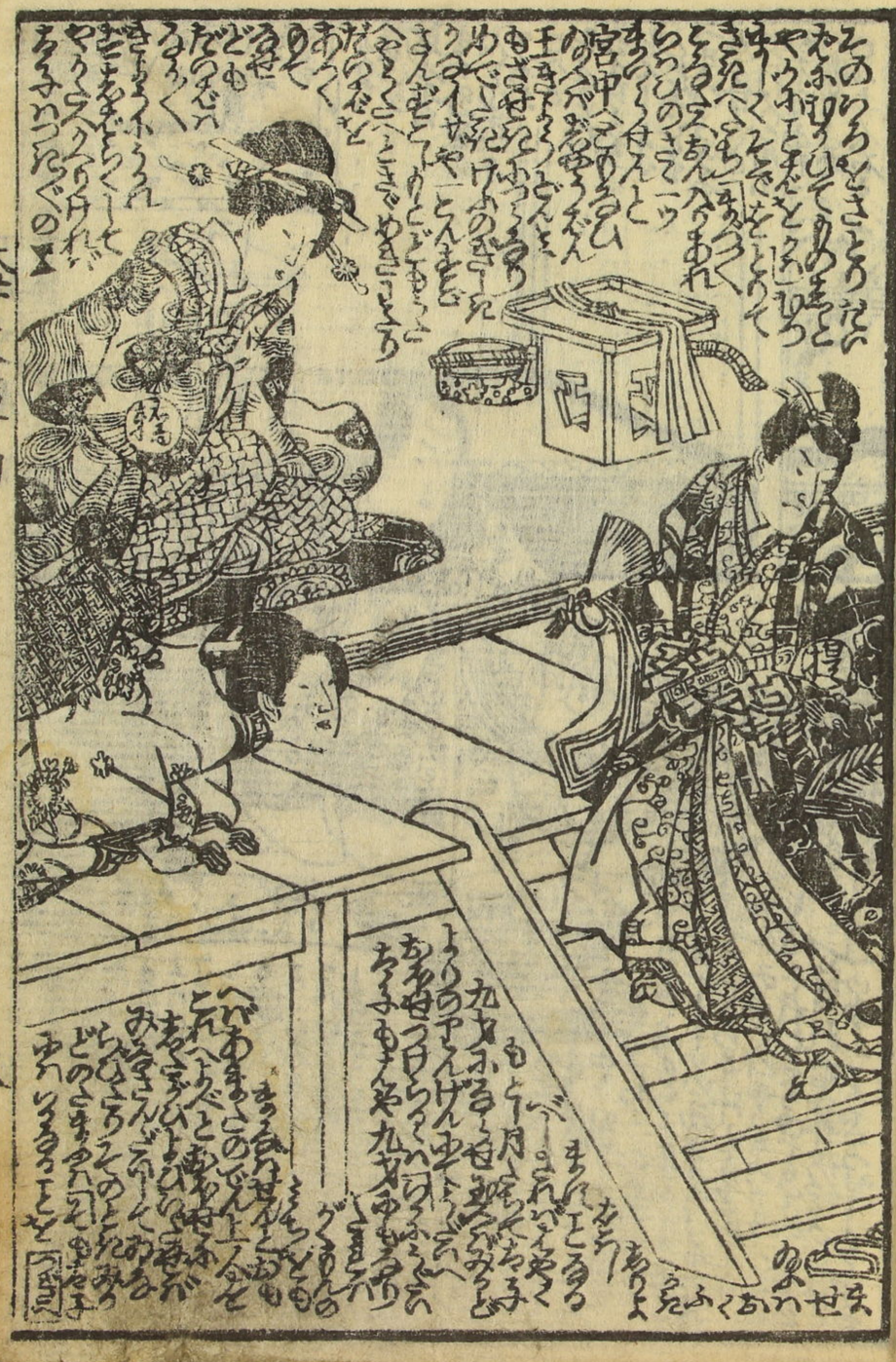
てぢ

ぢうこ

ぢうこ

ぢうこ

つぎは
ひこきたのまくとうこせきあいそまとうけまくもうちあかまあうぞかエとどめきまうどんこの方月ッけいうんくで上人らとれくお
せたとこけそちゆごせめ又その人くの北の方みるこづくみそ
の月ふゆさそ小ちのせくぶとけぶちをかそねどもるくまろ
とちをすハたのだとさたとーあまこのなりぎのきんさち
女中こちらの方のこそ
ちふそ
ある
どうぞの
内ふ
あのこの方ハ
ちふのこの方ハ
ちふのこの方ハ



# 豊國画 應賀作

## 安政三年丙辰春新板目録

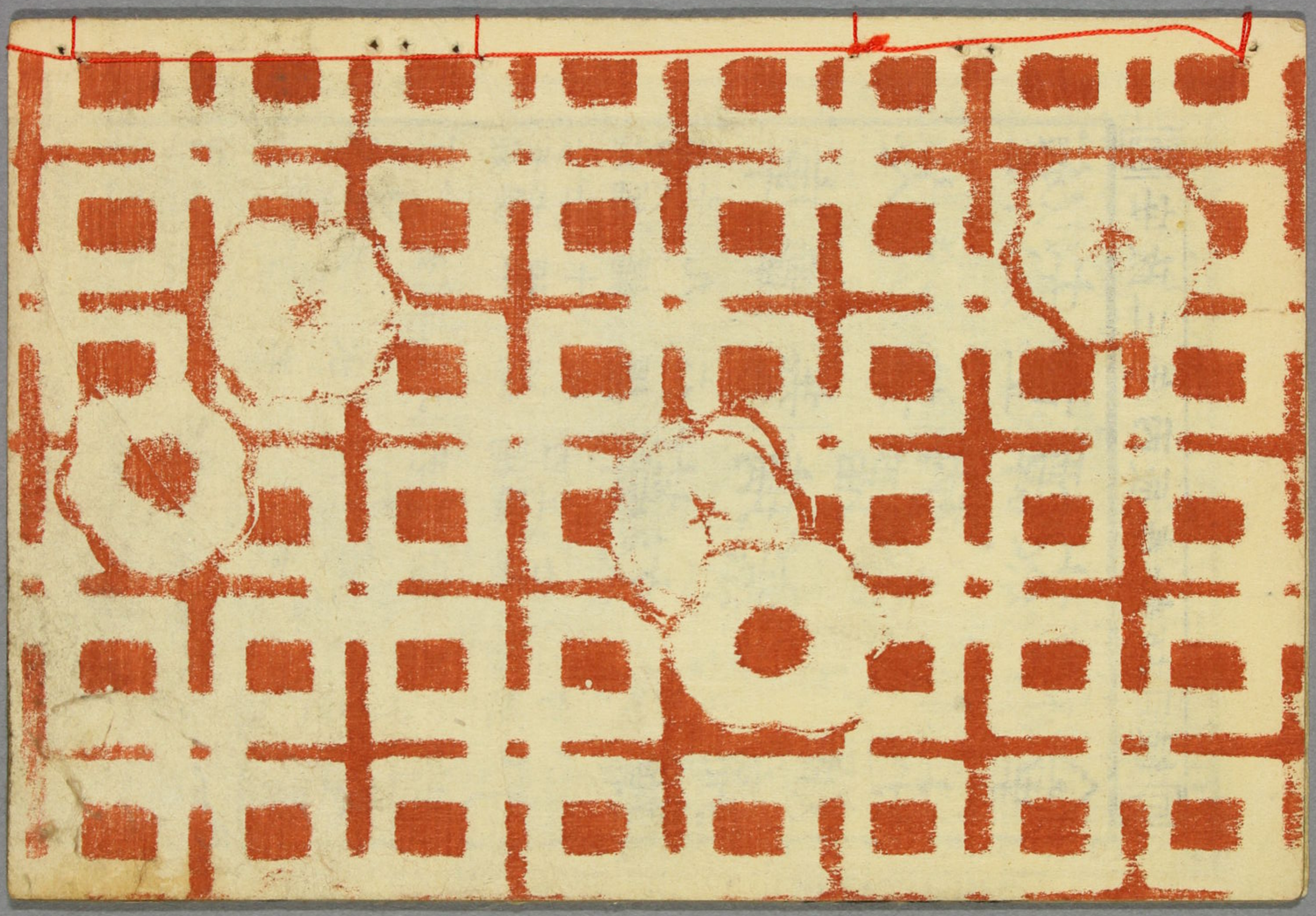
倭文庫 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 万亭應賀作 一陽齋豊國画

赤松譚 九編十編 如淵外史作 同画

重井菱 六編七編 為永春水作 同画

譚柄璃璃蔣 四編 西澤一鳳作 五編 一勇齋國芳画

茶番案文 全冊 万亭應賀作 一陽齋豊國画

神代そだち 三編 同 四編 一勇齋國芳画

金本類錦繪 人形町 上州屋重藏